



会計区分	28年度当初予算	対前年度比
特別会計	国民健康保険特別会計	26億200万円 ▲5.2%
	後期高齢者医療特別会計	1億3,270万円 ▲14.8%
	介護保険特別会計	16億7,000万円 4.0%
	市場事業特別会計	3,480万円 44.4%
	漁業集落排水事業特別会計	2,740万円 ▲29.6%
	公共下水道事業特別会計	3億5,000万円 ▲11.2%
計		48億1,690万円 ▲3.0%
企業会計	収益的収入	4億4,530万円 ▲6.9%
	収益的支出	4億3,020万円 ▲0.9%
	資本的収入	6億4,974万円 ▲64.2%
	資本的支出	8億2,710万円 ▲57.6%
病院事業会計	収益的収入	20億2,080万7千円 40.2%
	収益的支出	20億2,080万7千円 35.6%
	資本的収入	2億3,267万円 ▲94.9%
	資本的支出	2億6,423万円 ▲94.2%
訪問看護ステーション事業会計	収益的収入	5,088万6千円 ▲5.0%
	収益的支出	5,088万6千円 ▲5.0%
(支出)計	35億9,322万3千円	▲57.7%

### 【南三陸町の貯金】

一般会計の平成27年度末の貯金（基金）残高見込額は、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせると約580億8,600万円となります。

財政調整基金について、平成27年度末残高見込額は約83億3,800万円です。平成28年度当初予算編成において、5億円の取り崩しとなつており平成28年度末の残高は減少する見込みですが、引き続き慎重な運用に努めます。

減債基金について、災害援護資金償還のための繰入と積立を行うため、平成28年度末残高見込額は約1,300万円となります。

特定目的基金については、平成28年度末残高見込額は約221億1,200万円と平成27年度末残高見込額と比べ約276億1,700万円の大幅な減少となっています。これは、復興交付金事業に要する経費の財源に充てるため設置した復興交付金基金の取り崩しによる減額となっています。

### 【南三陸町の借金】

町が、学校や道路、漁港など長い期間使用する公共施設を建設するときにその財源として町債発行という形で借金をしています。これは、単に一時期にたくさんのお金がかかりそのお金がないからという理由だけではなく、建設にかかるお金を分割払いにして、これから利用する町民も世代間にわたって公平に負担しようという考え方からです。

平成27年度末の借金（町債）残高見込額は、全会計で、約148億4,500万円となります。一般会計では、平成27年度末残高見込額は約104億1,200万円となっています。平成28年度以降は復興事業の進捗に伴い、借入額は少しづつ減少して行く一方で、災害公営住宅建設事業等のために借りた借金の返済額が増加すると予想されます。

### 【特別会計予算】

総額48億1,690万円となり、前年度予算と比べると約1億4,700万円、3.0パーセントの減となっています。国民健康保険特別会計における保険財政共同安定化事業拠出金の減額などが要因となっています。

### 【企業会計予算】

総額35億9,322万3千円となり、前年度予算と比べると約49億1,000万円、57.7パーセントの減となっています。水道事業会計では、当初予算は前年度より減額となっておりますが、災害復旧事業において平成27年度からの比較的大きな繰越を予定しているため、事業全体では執行予定額は前年度を上回る見込みとなっております。また、病院事業会計については、南三陸病院が昨年完成を迎えたことに伴い、減額となっています。